

科 目 名

教育原論

The Principal Theory of Education

1年 前期 2単位 選択

柿 塚 純 男

概 要

教育は、未来に生きる人間を育成することを通じて、未来を創造する最も基本的な人間の営みである（臨教審第2次答申）。この意味において、教育に携わる者は、子どもの未来、人間の未来、郷土の未来、ひいては日本の未来、世界の未来に対して、常に鋭敏な感覚と広い視野を持つ人間でなければならない。講義参加者一人一人が、この講義を通じて、より確固たる教育理念（哲学）を培い、身の回りに山積している教育課題の解決に、それぞれの立場で行動することのできる力を養う。

目 標

何故、教育改革が必要であったのか、その背景（課題、現況等）を、データを基に分析し、21世紀前半の教育の在り方を、貝原益軒公の教育論、臨時教育審議会（第1、2、3、4次）答申、教育基本法の理念から考え、教育に関する歴史、思想について理解を深める。

授業計画

テ ー マ	内 容
(1) 日本教育史、特に貝原益軒公の教育論	・江戸、明治、大正、昭和史から人物、関係資料を学ぶ。教育の礎、学びの5つの教え、知と行について学ぶ。
(2) 儒学の教えが生きている〈臨教審答申1次、2次〉から見える21世紀の学校教育論	・子どもたちの将来にどんな可能性、危険、問題が待ち受けているか。これらの問題に挑戦していくに必要な能力とは？ 未来が必要とする能力・資質を磨き、向上させるためどうすればよいのか。
(3) 家庭、社会教育論〈臨教審答申3次、4次〉	・学校、特に家庭、地域の教育論に絞り学習。更にはその連携の必要性。学校支援地域本部事業についても学習
(4) 教育基本法の教育理念、目標から見える教育論	・国会での質問及び答弁を通してそれぞれの立場でのディベートを実施
(5) 学校論	・学校史、現学校における教育の成果と課題
(6) 教科書論	・尋常小学校で使用された教科書からのメッセージ、未来の教科書論。教科書は日本国教育の歴史そのもの。
(7) 特別支援教育論	・LD、ADHD等の子どもの教育について国の動向と県の方角及び課題
(8) 人権教育概論	・熊本県同和教育基本方針から熊本県人権教育基本方針、この中に受け継がれている未来展望を期待する人権教育
(9) 教育内容とカリキュラム	・校長時代の実践から
(10) 子どもの問題、特にいじめ裁判	・実体験を通して（裁判資料あり）
(11) 生徒指導・特別活動	・具体的事例研究
(12) プラトンの「国家論」から見た現代子ども世相	・教育の「不易」と「流行」について 何故、今、古代ギリシアの教えが必要なのか。「自由と平等がいきすぎると……」
(13) 教育改革の流れで論議された学力論（教師論）	・教師像と信念（哲学）。その信念の柔軟性（益軒公の博く学ぶとは？）
(14) 保護者が期待する学校論	・モンスターペアレントから見える学校教育への期待。学校評価（自己評価、学校関係者評価、第三者評価）
(15) 定期試験	

授業方法

授業は、講義を中心に進め、必要に応じてディベート等で展開予定。教師論の使命感の確立は、マスコミ関係者で講義する予定。

学習到達度の評価

- (1) 適宜、小レポートを課し、学習の到達度を評価する。
- (2) 授業中のフェイス トウ フェイス、並びに、学びの姿勢で評価。

評価方法

皆出席を前提に、授業中のレポート並びに試験で総合評価。

教 材

参考書は負担にならない範囲で適宜紹介・購入。出来る限りプリントを用意する。

科 目 名

教育原論
The Principal Theory
of Education

1年 前期 2単位 選択

和田 英 武

概 要

最近、登校拒否・いじめ・学級崩壊及び青少年による殺人等の深刻な問題が学校の内外で起きている。これらの問題に対処するためには「人間」と「教育活動」の本質をよく知る必要がある。

本講座では、教育問題に広い視野と自信をもって対処できるように、一方では「人間と教育」という原理的な問題を心理的、歴史的及び哲学的な観点から考察し、他方では現実の具体的な教育問題についても考察する。これらの考察は、教育問題のみならず、人間に関する諸問題及び現代社会や科学の問題を考える際にも広い視野を与えてくれるであろう。

授業計画

回	学 習 内 容	評 価
1	オリエンテーション 第1章 最近の教育状況 1 最近の青少年の諸問題	
2	2 最近の教師の問題行動	前回の復習（記述）
3	第2章 人格の発達と教育 1 人格概念	“（”）
4	2 人格の分類ないし意味	“（”）
5	3 人格教育 4 家庭教育と人格形成	“（”）
6	第3章 教育史上における二つの教育思想の流れ 第1節 二つの教育思想 第2節 経験主義の教育思想 1 ソクラテスの教育思想	“（”）
7	2 ルソーの教育思想	“（”）
8	3 ベスタロッチーの教育思想	“（”）
9	4 デューイの教育思想	“（”）
10	第3節 系統主義の教育思想 第4節 二つの教育思想の統合	“（”）
11	第4章 最近の教育の背後に在るもの 1 戦後の我が国の教育の変遷	“（”）
12	2. 教育内容の現代化運動	“（”）
13	3. 教育の人間化運動と生涯教育	“（”）
14	4 新自由主義教育	“（”）
15		定期試験

授業方法

- ・本講座用テキスト中心の授業（ときどきビデオ鑑賞を取り入れる。）
- ・毎回、前回の復習を行う。

評価方法

- ・定期考査（80点）、前回の復習（20点）。60点に満たなければ再試験を実施する。
- ・前回の復習（記述）による評価は、前回の授業の概要と設問2～3から成る。

教 材

本講座専用のテキスト：和田英武 著「人間と教育Ⅰ（教育理念）」